

# ようざん通信

発行日：平成20年8月1日 第5号

## 若年性認知症ケアについて

デイサービスようざん並榎では、8月より「若年性認知症ケア」を始めます。

### ・特徴について

他の利用者と区分した時間、場所を設け個別にケアいたします。

(能トレ等学習を利用した療法)

利用される方の希望をお聞きして、通所プランや当日のプログラムを決めます。

リハビリ、ケアによって病気の進行を予防したり、再び社会生活に参加することを目指します。

### ・対象者について

要介護認定をお受けて40歳から65歳までのアルツハイマー病や脳血管障害による認知症または高次脳機能障害をお持ちの方。

要介護認定をお受けてない方もご相談下さい。

・下記の様な症状の方 是非ご相談下さい

- ・最近忘れっぽくなった。
- ・人の名前が覚えられない。
- ・仕事が遅くなった。
- ・同じ話を繰り返してしまう。
- ・初期の認知症かもしれない。

個別の時間を設ける為、1日の若年性認知症ケア希望者を2名程度までと制限させて頂きます。詳しくは直接デイサービスようざん並榎までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

デイサービスようざん並榎

電話027-362-4373 (担当堀江)

## 群馬社会福祉大学で認知症についての講義を行いました。



現代社会において、「認知症」という問題は様々な分野で大きく影響しています。一方、その認知度はまだまだといったところで、特に学生という若い年代にはほとんど浸透していません。この社会問題でもある、「認知症」を啓蒙することにより、「認知症」に地域全体で向き合っていけるのではと考えています。今回、群馬社会福祉大学からの依頼により、7月3日、7月14日と2回に分けて認知症の講義を行いました。学生の皆さんはその講義に対し、メモをとるなど、真剣に取り組まれていました。

今後20年後30年後、認知症高齢者は増加し続けると言われています。その高齢者の方々と一番多く関わって、介護現場の中心で引っ張っていくのは、現在の学生ではないかと思えます。そんな時代がやってきた時、果たして何人の人が「認知症」を受け入れ、向き合っていけるのでしょうか？私はそんな想いを胸に日々認知症の方たちと向き合っています。

いつか、もっと認知症高齢者の方々が安心して、幸せに暮らせる世の中になってほしいという期待を込めて、今後もこのような活動を継続していければと考えております。

(石原)



## ケアサポートセンターようざん栗崎納涼祭について



ようざん栗崎にて8月23日に行われる納涼祭で当日行われるイベントが決定しましたのでお知らせします。

イベントは和太鼓演奏、aliの会によるおやじバンド、岡本ブラザーズによるギター演奏、ハンドベル、むつみ会の皆さんによる歌謡ショー、八木節です。模擬店では、焼きそば、ホットケーキ、フランクフルト、ポップコーン、ヨーヨー釣り、輪投げ、飲み物等予定してい

ます。ようざん栗崎が3月にオープンしてから初めてのビックイベントですので、大成功させようと考えていますのでご家族の皆様ふるって御参加下さい。

納涼祭日程 8月23日(土曜日)

16:30から18:30まで

ケアサポートセンターようざん栗崎にて

小規模多機能型居宅介護施設

## ケアサポートセンターようざん

とある書籍より

認知症ケアに対する2つの基本原則

①入居者の“人生の歴史”を知り尽くす

②認知症に伴う“行動の目的や原因”を探る

認知症の人の行動には何かしらの意味や原因があり「決してその行動を否定してはならない」

事例1) かつて会社員だった人がカバンを持ちスーツを着て出かけようとする。通常はここで引き留めようとしています。しかし職員は「私もお伴します」とついて行き、途中で「でも今日は日曜日ですよ」と声掛けをすると「君も馬鹿だな。戻ろう」と満足して引き返す。

事例2) 異常な食欲でおしぼりやぬいぐるみなどにかじりつき、絶対に手放さない。試しに万歩計をつけた所、1日2万歩以上徘徊し実際に空腹であったことが分かった。かつて農家で戦争経験もあったのでおにぎりやサツマイモを手渡すとかじ

りついていたぬいぐるみなどを手放すようになった。おにぎりを頻繁に要求するときは「配給なので、もうありません」と言うと「それじゃ仕方ない」と納得してくれた。

事例3) ピック病で同じ店で万引きを繰り返す

事前に店に説明しておき行動を見守る。そして除々に万引き行動を同じホームの仲間への買い物などに切り替え「世話焼き〇〇さん」へと誘導した。

(※ピック病…認知症を引き起こす病気の1つ。人に対する感情や態度が激しく荒廃し人格はおろか顔つきさえも変わってしまう病気。物事に執着し無意識に万引きをしたり同じ行動を繰り返すなどの特有行動がある。)

上記の事例の様なケアを実践するには複雑に絡み合った糸の固まりから1本の糸口を見つけて丹念にほどこけるような根気が必要です。(諸星)

## グループホームようざん

昔からの行事の七夕様には、入居者の皆様はそれぞれ思い思いの願い事の短冊、折り紙で長く長くつないだ輪つなぎ、そして折り鶴など竹の笹に飾りました。「今年の七夕飾りは上手に出来たね」「いろいろ飾りが有りにぎやかでいいね…」と皆様大満足で「♪笹の葉さらさら…♪」と歌を唄ったり楽しまれました。また7月14日の梅雨の晴れ間の日に全員でカップ寿司へ11時頃出発し昼食へ出掛けました。まぐろ、ホタテ、うに、穴子と次々に好きな物に手をのばし沢山食べ「もう満腹だよ」と上機嫌でした。それでもまたケーキが廻ってくるとおしくすとおなかの中に入ってしまい、一同大笑いをしました。

帰りには三ツ寺公園へ寄り道しきれいな緑の景色や色とりどりの花を楽しみました。これからも入居者の皆様に楽しんで頂ける行事やお出掛けなどを、どんどん取り入れていきたいと思えます。(神宮)



写真はドーナツを食べに行ったときの物です

小規模多機能型居宅介護施設

## ケアサポートセンターようざん栗崎



な中、ようざん栗崎では、夏の風物詩とも言えるスイカ割りを楽しみました。目隠しをしスイカを目指しての一歩一歩は子供の

まさに、うだる様な暑い日が多くニュースでも熱中症や日射病などで病院に運ばれたとの情報を良く耳にします。当施設では、水分補給はこまめに行うようスタッフ全員で心掛けています。そん

頃の体験を思い出したかのような足取りで皆満面の笑顔でした。一汗かいた後の味も格別でした。これからも春夏秋冬それぞれの季節を感じられる行事をひとつでも多く取り入れられるよう楽しい企画を職員一同で考えていきたいと思っています。(須藤)



## スーパーデイようざん



関東地方も梅雨が明け、いよいよ本格的な夏が到来ですね。スーパーデイようざんでは、この蒸し暑い夏にも負けず、利用者様・職員ともに元気いっぱい過ごしています。

これから、この猛暑を乗り切る為脱水症や熱中症対策として、お茶や冷水またはポカリスエットでこまめに水分補給を促し、エアコンの温度調整・換気に心掛けて、利用者様の健康管理に努めていきたいと思えます。

さて、スーパーデイの南側の畑では体温を下げてくれる夏の野菜もたくさん収穫出来るようになり、糠漬けやサラダ、酢の物、時には味噌に付けて食したりと好

評です。採りたての野菜は、やわらかな食感で皆さん「美味しいねえ～」とつい表情がほころんでしまうほどです。

又今月の制作レクでは、夏の風物詩であるしだれ朝顔、壁掛け（スイカ、法被、豆絞り、提灯等を貼付）を制作しています。どれも昔の家庭にあったものばかりで制作しながらも、自然と会話が弾みます。

これからも、季節感を感じて頂きながらコミュニケーションを図り、出来るだけ個々のニーズに合わせてサービスの提供を目指し、利用者様の生活意欲を盛り立てていきたいと思えます。

（俵山）



## スーパーデイようざん飯塚



スーパーデイようざん飯塚では、7月15日に高崎イオンモールへ出掛けました。皆様初めてということで、イオンモールの大きさや商品の多さに驚いておられましたが、それぞれ食事や買い物などをして楽しめました。利用者様のたくさんの笑顔を見ることが出来たのと同時に、普段とは違う一面

も発見することが出来て、とても嬉しく思いました。また、夏に向けてオリジナルのうちわ作りも行ないました。色を塗ったり、字を書いたり、個性ある自分だけのうちわが完成すると、お互いのうちわを見せ合い、扇いだりして、うちわからの

涼しい風を味わっておられました。自分で作ったうちわの風は一層涼しく感じられたようです。4月から始めた畑も、ナスやミニトマト、じゃがいもなどの夏野菜が収穫の時期を迎えました。毎日畑から収穫した新鮮な野菜を昼食や夕食にお出ししています。皆様楽しみにしておられるようで、「次は何が収穫できるのか？」がよく話題の中心になっております。これから、暑さが本格的になって参りますが、利用者様と共に夏を楽しみながら過ごしていきたいと思えます。（植原）



## 小規模多機能型居宅介護施設

## ケアサポートセンターようざん並榎



真夏日、猛暑日という言葉も普通に使われるようになりましたが、また暑い夏が来ました。ケアサポートセンターようざん並榎では、外は暑くとも快適な温度の室内で、うめぼし体操やリハビリ体操で体を動かし、タンパリンの拍子に合わせて大正・昭和初期の懐メロや童謡を大きな声で歌い、ひまわりの花の製作を行っています。ご利用者様の中

には体を動かすことが好きな方や製作する事が好きで、ひまわりの花の材料のお花紙を黙々とまらめてくださる方と利用者の皆様方一人一人の個性の違いを大切にしながら一日を過ごしていただけるようスタッフ一同頑張りたいと思えます。

（林）



歌い、ひまわりの花の製作を行っています。ご利用者様の中



## スーパーデイようざん栗崎



今年も早いもので半年が過ぎ、毎日暑い日が続いておりますが、皆様においてはいかがお過ごしでしょうか。

スーパーデイようざん栗崎では、利用者様の人数も徐々に増え、たくさんの光が差し込む明るく

ゆったりとしたフロアで、毎日楽しく指先の運動を兼ねた作品作りを行っています。

7月は『七夕の日』に向けて、利用者様と一緒に折り紙で風船や鶴を折ったり、色とり



どりの紙輪を作ったりと、一生懸命にたくさんの飾りを作りました。短冊には利用者様それぞれの思いや、願い事を書いて頂き、皆で作った飾りと共に大きな笹竹に飾り付けをしました。「綺麗ねえ!」「良くできたよね!」と、皆様とても嬉しそうでした♪ご自身で作り、参加したからこそ一層の喜びなのだと思います。私達も利用者様のいつも以上の笑顔に喜びを感じることができました!

これからも、利用者様と一緒に、季節を感じることでできる作品づくりを心掛け、“笑顔いっぱいの時”を刻めるよう、職員一同取り組んで行きたいと思います。

(梨本)



## デイサービスようざん並榎



デイサービスでは、7月7日七夕の日になみ、織姫の気分になって貰おうと、希望された利用者様に浴衣を着て頂き、記念写真を撮りました。

最初は「浴衣?着られるかな?」「ちょっと恥ずかしいね」と言っていた利用者様も、浴衣を見ると「どの柄を着ようかな?」と乗り気満々の様子でした。浴衣を羽織ると「素敵!似合っていますよ」と声を掛けられ、「浴衣を着られると思わなかった、嬉しいよ」「若返ったようだよ」と言った声が聞かれ、普段見ることが出来ない表情や言動が見られ、新たな発見があり盛り上がりました。幾つになっても「元気で楽しく」を大切に、個々に応じた楽しいサービスを目指して行きたいと思います。

また、今回は七夕の飾りの前で撮った写真をそのままお渡しするのではなく、作業療法を兼ねて、写真のフレーム作りにチャレンジしました。

世界で一つだけの作品はみな個性豊かで、手作りの楽しさを実感して頂きました。これからも一人ひとり出来る範囲に違いがありますので、出来栄えにこだわらず、無理のない範囲で楽しみながら作業が出来るように心がけていきたいと思います。デイの壁面には、障子紙を色付けして作った、朝顔とひまわりの花の大作も完成しました。少しずつ、みんなで手がけて完成した喜びには大きいものがあります。利用者様からも「いいのが出来た、夏らしい」と感想を頂きました。しかし、手作業が出来ない利用者様もいらっしゃるので、レクの個別化、選択出来るレクといった今後の課題も見えてきました。今後も充実したレクを提供し、職員と共に楽しい時間を過ごしていただき、楽しんで利用したくなるデイサービスを目指して日々努力していきたく考えています。

(吉岡)



## 居宅介護支援事業所ようざん



【役立つ介護の知識】腰痛防止の為の工夫

介護の継続を断念する大きな要因の一つに、介護者の腰痛が挙げられます。日頃から腰痛防止の為の工夫を心掛けましょう。

腰痛防止の為の工夫

- 適度な腹筋運動
- 仰向けの状態での腰ひねり
- 腰痛バンドの利用

腰痛防止のための工夫は、適度な腹筋運動にあります。毎日少しずつ腹筋運動を行い、背筋とのバランスを保ちましょう。また、“腰痛バンド”と呼ばれ腰に巻くゴム状や布状の帯の利用も有効なようです。この腰痛バンドは、今では薬局や介護用品店で手に入れる事が可能ですので、気になる方はお勧めいたします。また、特にこの時期は脱水や熱中症などの恐れがあります。こまめな水分補給や室温調整を行い脱水症状等を未然に防ぐよう注意しましょう。(小板橋)

# 2008年 8月



日 月 火 水 木 金 土

						1	2
3	4 南京玉すだれ (上並榎)	5 理容日(上並榎)	6	7 誕生日会(飯塚)	8 ギター演奏 (上並榎)	9 レクフォークダンス (飯塚)	
10	11 スイカ割り大会 (飯塚)	12 理容日(飯塚)	13 理容日(飯塚)	14	15	16	
17	18	19	20 理容日(上並榎)	21	22 ギター演奏 (上並榎)	23 納涼祭(栗崎)	
24	25	26 エレクーン演奏 (上並榎)	27	28 ハーモニカ演奏 (上並榎)	29	30	
31					イベントの追加や予定の変更されることがございます。 最新の情報はホームページの “ようざんカレンダー”をご確認ください。		

## ホームページのお知らせ

当施設の案内やレクリエーション活動の状況を定期的に更新しお知らせしております。また、施設のブログや施設長のブログも公開しておりますのでご覧下さい。ブログは携帯電話でもご覧頂けます。

ようざんホームページ

<http://youzan.jp/index.html> (PCのみ)

ケアサポートセンターようざん

検索

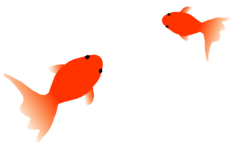
ホームページではようざん通信のカラー版をダウンロードできます。

ようざんブログ

<http://blog.livedoor.jp/youzan8/>

施設長ブログ

<http://blog.livedoor.jp/youzan6/>



## 熱中症にご用心！

毎年、小さな子どもが車内にとじ込められて亡くなったり、中高生が炎天下で運動中に倒れるといったニュースが後を絶ちませんが、実は熱中症で亡くなるのは高齢者が圧倒的に多いのです。普段あまり水分を摂る習慣がない人や、クーラーを付けずに家で過ごす人、日中野外で作業する人などが犠牲になることが多いといえます。熱中症は死に至る恐ろしい病気です。28℃以上、高湿度、無風の日には要注意。熱中症の正しい知識を身につけて、予防につとめましょう。

### ■ 熱中症ってどんな病気？

人間の体は、暑くなると、末梢の血管を拡張させて皮膚に多くの血液を集めて、熱を放出したり、また汗をかくことで体温を低下させるシステムが働きます。ところが、このときに、水分の補給を怠ると、体内に流れる血液の量が減少して、脳に血液が十分ゆきわたらなくなり、体温調節機能が働かなくなります。また、汗で塩分が流れでること、筋肉が硬直(熱けいれん)を起こしたり、さまざまな危険症状が起こるのです。

### ■ 熱中症の症状

体内の水分が不足すると、頭がボーッとしてきます。さらに、ひどくなると、頭痛や吐き気をもよおしたり、体温が40度以上になると、意識障害やけいれんを起こし、動けなくなってしまいます。

### ■ 熱中症の予防

1. 昼間(11時～14時)の外出は避ける  
もし、どうしても外出する必要がある場合は、日陰を選んで歩いたり、帽子や日傘で日差しを避けること。部屋で過ごすときは、遮光して風をよく通し、クーラーも上手に利用しましょう。

### 2. 水分をこまめに補給する

大切なのは、体を動かしていないときでも、のどが渇く前に水をこまめに飲むこと。外出するときは水筒を持って出かけましょう。少し冷やした水を飲むことで、胃腸の働きを活発にして、水分の吸収が高まり、体内の温度調節機能の低下を防ぎます。

★ 外出前、就寝前後、入浴後には必ず水分補給を習慣に

普段あまり水分を摂らないという人は、水分を摂るタイミングを意識的に設定して、

習慣づけましょう。特に、外出前、就寝前後、入浴後はコップ半分～1杯の水を飲むことを心がけてください。

### ★ 水を飲むように呼びかけましょう

ニューヨークでは一人暮らしの老人に水を飲むように呼びかけるボランティアがいます。高齢者のいる家庭では「今日は暑いから水を飲みましょうね」のひと言を。

### 3. 汗をかいたら塩分を補給

大量に汗をかいたときは、麦茶1リットルに梅干し半分～1個、水に塩を少し入れて飲んだり、スポーツドリンクを飲んででもいいでしょう。

### 4. クール剤を利用

体がほてっているときは、首や脇の下などを氷水で冷やしたタオルを当てて、上昇した体温を冷やします。冷凍庫に保冷剤を常備しておくと便利です。

### 5. 入浴はぬるめで短時間

高齢者は高温入浴を好む傾向が高いのですが、これも熱中症危険度大です。暑い日はぬるめのお湯で短時間入浴を心がけましょう。

## ようざん施設案内

事業所名	提供サービス	所在地
ケアサポートセンターようざん	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市上並榎町1180 電話 027(362)0300
ケアサポートセンターようざん並榎	小規模多機能居型宅介護	
スーパーデイようざん	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん	認知症対応型共同生活介護	
デイサービスようざん並榎	通所介護	
居宅介護支援事業所ようざん	居宅介護支援	群馬県高崎市飯塚町1311-6 電話 027(370)4355
スーパーデイようざん飯塚	認知症対応型通所介護	
ケアサポートセンターようざん栗崎	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市栗崎町141-1 電話 027(353)4393
スーパーデイようざん栗崎	認知症対応型通所介護	

### 主権在客

(株) ブランドゥ

370-0801  
群馬県高崎市上並榎町1180

TEL : 027 (362) 0300  
FAX : 027 (362) 0036